

こんな姿を
目指したい!!

文章を読んで理解した内容を基に、 自分の考えをまとめることができる児童



正答例 ② 四

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。

ここがつまずき！

運動と食事について分かったことをもとに、自分ができそうなことを考えてまとめるという問いに対して、運動と食事について分かったことのみを書いている。
→文章を読んで理解したことを基に、自分の考えをまとめることが必要となる。

特徴的な誤答

運動にはいくつかの種類があり、持久力や筋肉の力を高める運動があることが分かりました。また、自分が好きなものばかり食べていると栄養がたよってしまうことが分かりました。

誤答から見える
児童のつまずき！



日々の学習における改善・充実

〔第5学年及び第6学年〕C読むこと オ

〈言語活動例〉健康に過ごすために、複数の本を選んで読み、自分ができそうなことを考えて報告する活動



資料を読んで分かったことを基に、これから自分ができそうなことを考えてみましょう。

縄とびをしてみようかな。



縄とびに取り組みたいのはなぜですか。

ぼくは、走るとすぐに疲れてしまうので、持久力を高める運動をしたいと思ったからです。



こんな問いかけ
してませんか



資料を読んで分かったことを基に、自分のことと結び付けて考えたですね。同じように考えた人はいますか。

好きなものばかり食べると、栄養がたよってしまふことが分かったので、わたしは、苦手な野菜を食べようと思います。



個別の指導をする過程で児童から引き出したポイントについて学級全体に問うことにより、自分の考えのまとめ方がより明確になり、共有されます。



中学年の学習で...

〔第3学年及び第4学年〕C読むこと オ
文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと

自分の感想や考えをもたせるには、手がかりとなる視点を示すことも有効です。



資料を読んで、分かったことや疑問に思ったこと、もっと知りたいことはありますか。

軽いジョギングは、持久力を高めることが分かりました。



筋肉の力を高める運動をもっと知りたいです。



なぜ野菜や果物を食べると体の調子を整えることができるのかな。



感想や考えをもつことは、自分が文章をどのように捉え、理解したのかを改めて確かめることにつながります。



文章を読んで理解したことを基に、

自分と結び付けて考える場面を設定しよう！

ここが
POINT

2

相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ【資料1】、【資料2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたい。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。



【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。

私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例



主に筋力を高める運動の例



【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、
元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや
好きなものばかり食べていると、栄養がたよってしまい、
つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のよう、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。
肉や卵などは、主に体をつくるのもとになります。

筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。
野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、
病気にかかりにくく()なります。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉
主にエネルギーの源となる

主にエネルギーのもとになる



米、パン、バターなど

主に体をつくるものになる

肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるものになる



野菜、果物など

四 相田さんは「資料1」、「資料2」、「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

A blank sheet of graph paper with a grid of squares. The top-left corner has a small black square and a label "100F". The bottom-left corner has a label "100F".

学習指導要領における領域・指導事項

〔第1学年及び第2学年〕C読むこと
文章の内容と自分の体験と結び付けて、感想をもつこと。

〔第3学年及び第4学年〕C読むこと
才文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

【第5学年及び第6学年】C読むこと
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる
1-1。